

学校長あいさつ

石垣市立大本小学校
校長 知念 克治



宜野湾市立普天間小学校より大本小学校の第20代校長として赴任いたしました、^{ちねんかつじ}知念克治と申します。よろしく申し上げます。

赴任して初めて目にしたものが、校門に入ってすぐの記念碑に、『共に育つ』の校訓でした。

初めに、『物事を成就するためにお互いの力を合わせることを大事にし』とあります。

人は一人ではありません、家族や友達、そして先生方との触れあいの中で、大きく成長していくものなのです。だからこそ、お互いの力を合わせる事が大切になるのです。

次に、『苦しみは背負い、喜びは共に分かち合う』とあります。小規模校だからこそ、誰も一人ぼっちにはしない、みんなで共に育っていくんだという気概が感じられます。そして、その言葉の中には、自分以外にも、他の人を大切にしていくことがかかれています。相手の立場で考え、相手の身になって考え行動することでチームとして行動でき、そして大きな目標を達成するのです。

最後に、『県下最高峰の於茂登岳に抱かれて学びを等して大きく育とう。』には、地域の方々や保護者の思いが託されています。

自分の夢は、自分の努力で成し遂げるものです。於茂登岳のように大きな自然や、地域があり、何よりも、大本っ子の成長を暖かく見守っている保護者がいます。

だからこそ自分の力を信じて、大きく羽ばたいて欲しいです。

私たち大本小学校の職員一同は、小規模校の特性を生かし、地域の実態並びに保護者の願いを考慮し、心身ともに健やかで、自ら学ぶ意欲と豊かな心を持つたくましい児童の育成を目指します。そのためには、学校は組織体であることを確認し、教職員が教職の専門職としての自覚と誇りを持ち、率先垂範に努め、教育目標の具現化に向け、教育活動を組織的・計画的・継続的に実践していきます。